

2023年（令和4年）5月 1日

福山市子ども会育成協議会

会長 山本 強

安全対策副部長

藤本 健次

＜安全対策の考え方＞

1. 人が社会活動を行う上で、危機（リスク）は必ず存在し、リスクが“0”ということはありません。レベルは様々だがリスクはあると認識
2. リスクの考え方の基本「ハインリッヒの法則一ひやり・はっとの法則」（1つの重大事故や事件が発生する以前に、29の小さな事故やミスが発生している。さらに、その前には事故や事件としての損害や損傷は起きていないが、ヒヤリとすることや、ハッとすることが300回は起きている。）
3. 特定の行動にリスクが存在するかどうかの受け止めは、その行動に直面した人それぞれで認識に差がある
4. 経験的に事件や事故の発生が無かったことを理由に、リスクを想定・検討せず活動した結果、事故や事件が発生した時によく聞くのが、「まさか、想定外・・・」という表現←この表現が『まさか』
5. 上記事項をふまえ、存在するリスクによる事件や事故の被害を抑制する（安全対策）には、可能な限り多人数の話し合いの場で活動時に潜在するリスクをあげて、リスク回避に必要な事項を協議決定し文書化することが重要、また活動終了して開催中に、事故や事件が発生しなかったとしても、反省会の場合などで、予定もしくは実施した対応に問題が無かったか、今後はどうすべきか話し合いを行い記録、活動に向けて運営のレベルアップを図る

～イベントの企画・運営において有用な資料の紹介～

【公益財団法人スポーツ安全協会発行の「イベント・大会主催者のためのワンポイントアドバイス（運営体制づくり）」】

以下URL参照

<https://www.sportsanzen.org/content/images/other/guide3.pdf>